

南国 沖縄の冬的一大イベント

金子さんより受け継ぎました沖縄職業能力開発大学校の船木です。金子さんとは、大学時代の同級生で学生寮にしているいと人生相談にのっていただいた思い出があります。

さて、私の勤務地である沖縄は、海と自然が美しい島であります。沖縄のスポーツといえば、マリンスポーツで、私も沖縄に赴任するまでは、恥ずかしながら、沖縄＝海のイメージしかありませんでした。しかしながら沖縄には、県民、老若男女に愛されているスポーツが数多くあります。その1つが「市民マラソン」です。

有名な市民マラソンといえば、ハワイで行われる Honolulu マラソンです。また、昨年は、東京都の名所を走ることのできる第1回大会東京マラソンが開催され、応募倍率の高さは新聞で取り上げられたとおりです。

ここ沖縄では、10月末より離島、本島を含めてマラソン大会が開催されます。そして、沖縄で開催される大会の中で、最も参加人数が多いマラソンが、NAHA（那覇）マラソンです。新入社員は必ず参加するというルールがある企業もあるそうです。

NAHAマラソンは、今年で23回目の開催で国内の市民マラソンでは、長い歴史を持ち、また、トップクラスの開催規模を持つ大会です。第1回大会は、那覇市とホノルル市の姉妹都市締結25周年を記念して開催されたと聞いております。参加人数は約2万人。沖縄県の人口が137万人ですから、1%の人が参加する一大イベントです。当の私も「飲み会の席」で走ると宣言してしまい、ろくに練習もせずに参加を決意した1人です。

コースは、那覇市街地をスタート地点として、那覇一番の繁華街、「国際通り」を抜け、南に進みます。サトウキビ畑の中を抜け、戦争慰霊碑がある平和祈念公園、ひめゆり学徒隊で有名な「ひめゆりの塔」の前を通過し、再び北上、那覇空港に発着するジャンボ旅客機を眺めながらスタート地点である奥武山運動公園にゴールするコ



ースで、観光地をつないだ沖縄本島南部を一周する42.195kmです。

沿道には応援してくださる人々が大量おり、ゴール地点まで途切れることがありません。そして、子どもやおじい、おばあ、友人たちが沖縄名物の黒糖やさんびん茶を振舞ってくれます。特にひめゆりの塔の前でいただける「沖縄そば」、「油味噌のおにぎり」は絶品で、空腹を満たし、何とか完走（完歩）しようとする決意をふるい立たせてくれます。正直、走っている（後半は、ほとんど歩いていますが）最中は何度も、「なんでこんなにしんどいことやっているんだろう。」とリタイアが頭をよぎります。完走者全員にいただける琉球ガラスで作った完走メダル、完走証と応援だけが完走のための気力をつなぎとめ、昨年、一昨年と何とか歩いて完走している状態です。

まだ、42.195kmを走り続けることができない私ですが、自分のペースでさまざまな大会に参加していきたいと思います。写真は、11月18日に行われた私の初レースである中部トリムマラソンの写真です。

さて、次のリレートークは、新潟県で消防士をしている亀田博喜さんです。彼は新潟職業能力開発短期大学校の卒業生で、社会人になった今でも連絡を取り合っています。それではよろしくお願いたします。